

委員会活動報告書

委員長名 野村美千江

【委員会名】 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム推進委員会（特別プロジェクト）	
【メンバー】 ◎野村 美千江(愛媛県立医療技術大学)、○澤井 美奈子(湘南医療大学)、 ¥鈴木 知代(聖隷クリストファー大学)、和泉 比佐子(神戸大学大学院)、 古川 照美(青森県立保健大学)、鳩野 洋子(九州大学大学院)、*宮崎 紀枝(長野県立大学) <p style="text-align: right;">50 音順、◎委員長、*役員以外の委員、¥会計担当、()所属名</p>	
【活動方針】 「公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム(2017)」(以下、「保健師コアカリ 2017」と略す)の周知と活用の推進を図る。周知を図るため委員は全ブロックから選出する。	
2018 年度	
達成目標	<ol style="list-style-type: none">1. 関連団体の看護学教育基準や学問体系を参照し、「保健師コアカリ 2017」の位置づけを明確にする。2. 「保健師コアカリ 2017」の活用を推進する。3. 「保健師コアカリ 2017」の周知を図る。
活動報告	<ol style="list-style-type: none">1. 関連団体の看護学教育の基準や学問体系の学習と検討 「日本公衆衛生看護学会が考える公衆衛生看護学の体系 2017」、「看護学教育モデル・コア・カリキュラム H29」、「日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会:大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準－看護学分野」等の資料を参考に、「保健師コアカリ 2017」の大項目と中項目は、保健師教育課程の科目として設定することが可能であることを確認した。2. 「保健師コアカリ 2017」の教育実践への活用<ol style="list-style-type: none">2-1) 公衆衛生看護の対象である個人／家族、地区／小地域、地域組織、自治体等のすべての要素を含む認知症・児童虐待疑い・生活習慣病の3事例を作成した。2-2) 公衆衛生看護学原論、公衆衛生看護技術、活動論、実習等のカリキュラムマップ例を作成した。2-3) 実習計画への活用例を作成した。3. 全保教の全国教員研修会の分科会等で活用を促進<ol style="list-style-type: none">3-1) 夏季研修会 8月20日(月)午前 大阪 新丸ビル別館 「保健師コアカリ 2017」の活用－公衆衛生看護の対象と支援方法を事例で学ぶ 計画2で作成した事例をもとに、課題提示・グループワークで進める分科会3-2) 秋季研修会 10月23日(火)福島県 郡山商工会議所 夏季研修の成果をもとに、対象別の健康課題に対する支援方法を整理・提示した。加えて、カリキュラムマップ例や実習計画の例を提示し、教育への活用を議論した。4. 印刷冊子を会員校に配布するとともに、PDF ファイルをホームページに掲載した。また、各ブロック研修会を通じて「保健師コアカリ 2017」の周知を図った。5. 委員会を5回開催した。6. 活動成果を全保教機関誌「保健師教育」に報告した。